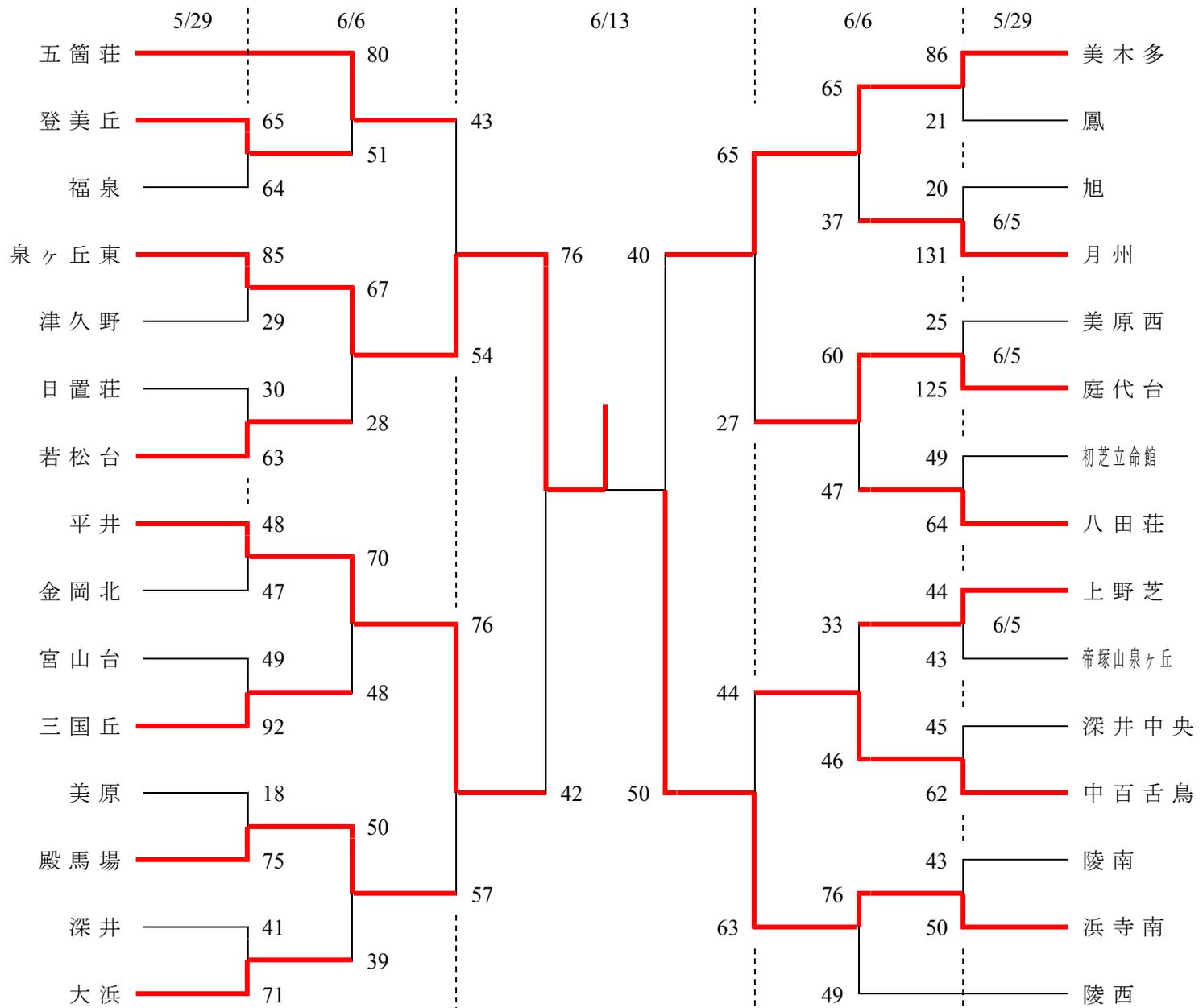


2010年度堺市種目別優勝大会

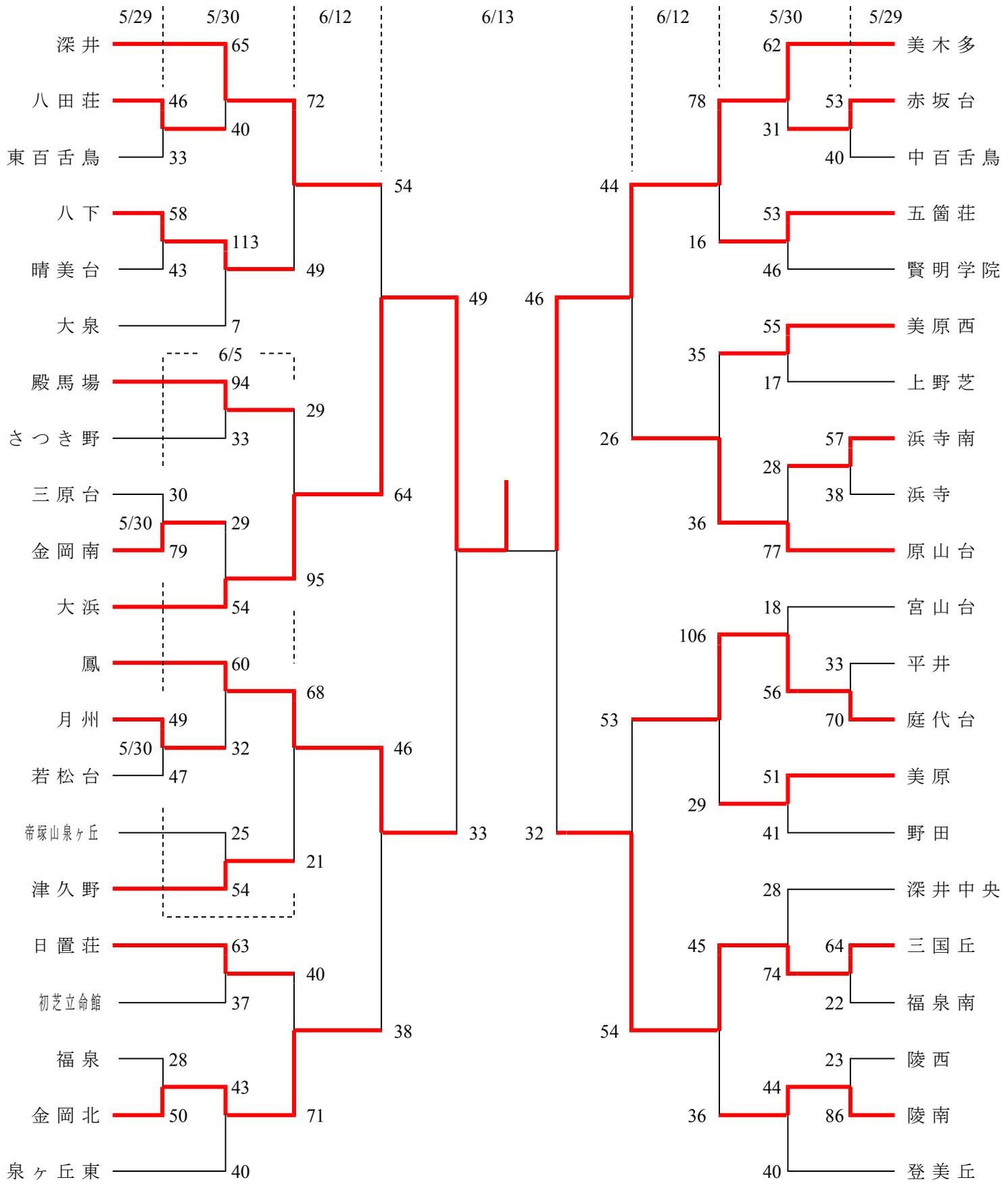
男子の部



決勝

泉ヶ丘東	6	9	-	2	9	浜寺南
	10	10		2		
	25	20		8		
	16	30		4		
	18	40		15		

女子の部



決勝

大浜	7	1	-	5	5	美木多
	13	1Q		10		
	14	2Q		6		
	24	3Q		11		
	20	4Q		28		

男子決勝戦評 泉ヶ丘東 - 浜寺南

両チームともにハーフコートマンツーマンでスタート。泉ヶ丘東はピック&ロールを主体に、一方浜寺南はドリブルスクリーンを中心に攻め合う。その中でシュートに安定力のある泉ヶ丘東が10-2とリードする。

2Qに入り、泉ヶ丘東はディフェンスを1-1-2-1から3-2のゾーンに変える。パスコースの予測をつけたディフェンスが的中し、一気に試合の流れを引き込む。浜寺南も3-2のゾーンで流れをつかもうとするものの、泉ヶ丘東の勢いを止めるにはいたらず、泉ヶ丘東が35-10と大きくリードして前半を終える。

後半に入ると、浜寺南も2-2-1のゾーンプレスなどで挽回を試みるも、泉ヶ丘東④⑦の3Pが効果的に決まり、また⑤の力強いリバウンドシュートも決まるなどして、流れは変わらず51-14で最終Qを迎える。

最後まで流れは変わらず、激しいディフェンスのプレッシャーの中でも終始着実にシュートを決める泉ヶ丘東のオフェンス力が光ったゲームであった。

夏の大会に向けて、各チームともにより一層のディフェンス力アップと、それに負けないオフェンス力のアップを課題にあと1ヶ月がんばりたいものである。

(佐藤、薮上、飛田)

女子決勝戦評 大浜 71-55 美木多

大浜④⑤⑦⑧⑨のオールコートマンツーマン、美木多④⑫⑬⑭⑮のハーフコートマンツーマンでスタート。大浜④のペネトレイトからのジャンプシュートで試合が動き出す。大浜の激しいディフェンスで美木多のターンオーバーが続き、たまたま美木多はタイムアウトを要求する。その後は互いにインサイドを攻めきれないまま13-10で1Qを終える。

2Qでは美木多⑬、⑮がガッツあふれるプレイを見せ、試合の流れを引き寄せるとはいきや、大浜⑤が着実にシュートを決め続け、点差は徐々に広がっていった。27-16と大浜がリードして前半を終える。

後半でも大浜の激しいディフェンスが功を奏し、美木多はなかなかシュートまでいけない。逆に大浜は確実にシュートを決め、51-27と大きくリードする。

最終Qで点の取り合いを挑んだ美木多であったが、時すでに遅く、71-55で大浜が優勝を飾った。

(市原、安慶名、一塚)